

	食物栄養学科	キャリア開発学科	幼児保育学科
教育目標	ライフステージに応じた栄養・調理の知識、技術を修得し、少子高齢社会において一人ひとりのライフスタイルに即した健康管理に貢献できる栄養士を育てます。また、幅広い教養と倫理観を修得することにより、社会人としての良識と判断力を持った積極的に心温かい人材を養成します。	“キャリア”とは、働く場あるいは生活する場でのさまざまな関わりの中で、自己の価値を形成し、それをそれぞれの場で生かすための努力過程である。このようなキャリア形成に絶えず努め、それぞれの場において貢献し得る、人間性豊かな人材を育成します。	幼児保育に関する幅広い専門性、豊かな人間性、そして自ら学ぶ力を備え、教育・福祉の場で活躍できる実践力ある保育者を養成します。
ディプロマ・ポリシー	<p>食物栄養学科（以下、「本学科」という）では、2年以上在学し本学の課程を修め、かつ次のような資質・能力を備えた者に短期大学士（食物栄養学）の学位を授与します。</p> <p>態度・志向性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の「建学の精神」および本学科の「教育目標」を修得している。 2. 自ら適切な食生活を実践できる自己管理能力・協調性・リーダーシップ・倫理性を有し、社会に貢献したい強い意思を持っている。 <p>知識・技能</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人の健康と栄養、食品知識、調理法、食の安全、基本的な語学力、社会人としての倫理と教養など、栄養士としての基礎的知識と技術および社会人を修得している。 2. ライフステージや多様なライフスタイルに対応した栄養指導、多彩な調理法と給食に関する基本的な知識と技術、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を修得している。 <p>実践力・応用力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養士が活躍する多様な現場で、その状況に応じた適切な対応ができる応用力と実践力を修得している。 2. 社会全般においても、「食」のスペシャリストとして人々の健康増進に寄与できる応用力と実践力を発揮できる。 	<p>キャリア開発学科（以下、「本学科」という）では、2年以上在学し本学の課程を修め、かつ次のような資質・能力を備えた者に短期大学士（家政経済学）の学位を授与します。</p> <p>態度・志向性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 意義ある自己のライフスタイルを考えるとともに、社会生活を広い視野から捉え、自己啓発・自己形成に能動的に取り組む態度を身につけている。 2. 自己の置かれた立場と役割を把握し、TPOに応じた立ち居振る舞いや目標達成に向けて進むべき方向を示すことができる。 3. 多様な価値観の存在、複雑な現代社会を理解し、家庭・職場・地域社会において、人間関係を円滑に営むための柔軟性と調和のとれた態度を身につけている。 <p>知識・技能</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会、経済、およびビジネスの基本を理解し、情報処理、ICTを含むビジネス実務に関する知識・技能を修得している。 2. 地域社会や日本についてはもとより、外国文化や国際情勢を理解し、英語を中心とした語学力を修得している。 3. 家族、家庭の衣食住、家庭経営の基本を理解し、それに関する知識・技能を修得している。 4. 社会・人文・自然科学など幅広い教養とマナー、コミュニケーション能力を身につけている。 <p>実践力・応用力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学修した社会やビジネスに関する知識や技能、英語を中心とした語学力、家庭生活に関する知識や技能、そして身につけた教養やコミュニケーション能力を活かして、自ら課題を発見し、能動的に取り組む解決することで、家庭・職場・地域社会における活動を、効率的かつ豊かにすすめることができる。 	<p>幼児保育学科（以下、「本学科」という）では、2年以上在学し本学の課程を修め、かつ次のような資質・能力を備えた者に短期大学士（保育学）の学位を授与します。</p> <p>態度・志向性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の建学の精神に基づき、短期大学士（保育学）としてふさわしい礼節、教養、良識が身につけている。 2. 教育的愛情、協調性、責任感をもって社会に貢献できる。 <p>知識・技能</p> <p>保育の社会的意義を理解し、保育者として求められる基本的知識・技能・職業倫理観を有している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育者として求められる基本的知識について理解し、実践することができる。 2. 保育者として求められる基本的技能について理解し、実践することができる。 3. 保育の社会的意義と職業倫理について理解し、実践することができる。 <p>実践力・応用力</p> <p>保育の問題を主体的に考え、広い視野を持って子どもの心身を理解し、その潜在的能力に気づくことができるとともに、家庭や地域への対応能力を備え、積極的に子育ての情報発信および支援を行うことができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育の問題を主体的に考え、継続的に成長し続けようとする姿勢を有している。 2. 広い視野を持って子供の心身を理解し、適切に支援・援助することができる。 3. 家庭や地域のニーズに対応し、積極的に子育ての情報発信および支援を行うことができる。

	食物栄養学科	キャリア開発学科	幼児保育学科
カリキュラム・ポリシー	<p>本学科では、厚生労働省が「栄養士養成施設の指定基準」として定めている教育内容と単位数を充足したうえで、本学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる知識・技能などの修得目標を達成するために、教養科目、専門科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実験、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。</p> <p>態度・志向性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の「建学の精神」および本学科の「教育目標」を会得するとともに、学生としての学修・生活態度を修得するために、初年次教育教科として「大学基礎演習」を配置する。 2. 栄養士として社会に貢献する使命感や倫理観、ならびに自らの食生活についても主体的に適切な食生活に行動変容できる自己管理能力を有する栄養士を養成するために、「栄養士基礎講座」および「栄養士総合講座」を配置する。 <p>知識・技能</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養士としての基礎的知識と技術および社会人力を修得させるため、これらに対応する基礎的な専門的知識及び技術に関する教科、および主体的に選択できる一般教養・語学教科を配置する。 2. 多様なライフステージに対応できる栄養指導、献立作成、調理法、集団給食の知識と技術、コミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力などを修得させるためのアクティブ・ラーニングを活用した発展的専門教科を配置する。 <p>実践力・応用力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養士が主として活躍する集団給食施設や食品企業などの多様な現場で、その状況に応じた適切な対応ができる応用力と実践力を修得させるキャリア教育教科を配置する。 2. 「食や健康」のスペシャリストとして幅広い知識、技術を身につけるために、フードスペシャリストの資格を取得するための教科を配置する。 <p>学修成果の評価は、シラバスに記載した各科目の到達目標に基づき、その到達度に応じた成績評価基準を設けて適正に行います。</p>	<p>本学科では、本学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる知識・技能などの目標を達成するために、共通教育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。カリキュラムは「基盤分野」「教養分野」「家政分野」「ビジネス分野」「語学分野」「フィールドワーク分野」の6つの科目群で編成し、「基盤分野」は必修・選択必修とします。</p> <p>態度・志向性</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 自己の適性や将来の職業について考え、自らキャリアを形成できるように、キャリア開発に関する科目を「基盤分野」に配置する。 2. 専門性や地域にとらわれることなく広い視野から思考力・行動力を身につけ、また、人間関係を円滑に営むための科目を「教養分野」「ビジネス分野」「フィールドワーク分野」に配置する。 <p>知識・技能</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネス実務に必要な情報処理、経済、会計、語学、ビジネスマナーに関する科目を「基盤分野」「ビジネス分野」「語学分野」に配置する。 2. 家庭生活を円滑に行うために必須の衣・食・住、育児、介護、仕事と生活の関係を考える科目を「家政分野」に配置する。 3. 豊かな人間性・社会性を育成するための科目を「教養分野」に配置する。 <p>実践力・応用力</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「基盤分野」から「語学分野」までの5つの分野で修得した知識・技能を活かして、実体験を通して課題を発見し問題を積極的に解決できる力を身につけるための科目を「基盤分野」「フィールドワーク分野」に配置する。 <p>学修成果の評価は、シラバスに記載した各科目の到達目標に基づき、その到達度に応じた成績評価基準を設けて適正に行います。</p>	<p>本学科では、本学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）に掲げる知識・技能などの目標を達成し、幼稚園教諭免許及び保育士資格を取得するための、共通教育科目、専門教育科目及びその他必要とする科目を体系的に編成し、講義、演習、実習を適切に組み合わせた授業を開講します。</p> <p>態度・志向性</p> <p>短期大学士（保育学）としての基礎を培う「基盤分野」、豊かな教養を身につける「教養分野」に関する科目を開講する。</p> <p>知識・技能</p> <p>保育者として求められる基本的知識、技能および態度を養う「保育基礎分野」に関する科目を開講する。</p> <p>実践力・応用力</p> <p>「保育基礎分野」での学びをさらに応用的・実践的に高める「保育応用・実践分野」「実習分野」に関する科目を開講する。</p> <p>学修成果の評価は、シラバスに記載した各科目の到達目標に基づき、その到達度に応じた成績評価基準を設けて適正に行います。</p>

	食物栄養学科	キャリア開発学科	幼児保育学科
アドミッション・ポリシー	<p>本学科は、社会で活躍できる栄養士を育成するため、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校卒業レベルの教養的知識と技能、語学力ならびに科学的知識を有している人 2. 種々の課題に対する思考力・判断力・表現力等の基本的能力、および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を身につけている人 3. 自然科学系教科および人の健康・栄養に関心があり、さらに深く学ぶ気持ちがある人 4. 栄養士になるための「食」に関する専門知識と技術を修得する強い意欲がある人 5. 自主的に行動できるよう心がける姿勢や、基本的なコミュニケーション能力を身につけている人 <p>【入学前の学習について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 栄養士の社会的役割や業務内容と職域などの概要を調べると同時に、栄養士になるために学修しなければならない知識・技能範囲の大略を理解しておくことが望まれる。 2. 社会における「食」に関する様々な問題に対して興味と関心を持って自分自身で調べておくことが望まれる。 3. 入学後に必要な基礎的知識を身につけるために、本学科が行う入学前教育に積極的に取り組むことが望まれる。 	<p>本学科は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受けるための条件として、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学科のディプロマポリシーおよびアドミッションポリシー、シラバスを熟読し、学科のポリシーや教育目標、各科目内容を十分に理解している人 2. 高等学校卒業レベルの基礎的な学力および思考力、行動力を有している人 3. エチケット・マナー、コミュニケーション能力の重要性を認識し、その向上に励む意志を持っている人 4. 自律した職業人・社会人、職場のリーダーを目指して、自己のキャリア形成に強い意欲を持っている人 5. 将来、身につけた知識・技能を職場や家庭で活かし、社会にも還元する強い意志を持っている人 <p>【入学前の学習について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 特定の科目に偏ることなく、高等学校で学習した全ての科目を復習しておくことが望まれる。 2. 新聞やIT等を利用し、日本はもとより世界のビジネスに興味・関心をもち、自分のキャリアについて考えておくことが望まれる。 3. 本学科が行う入学前教育に積極的に取り組み、本学科で何を学ぶのか、卒業後のキャリアについて考える。また、指定された課題を学習し、入学後の学修に備える。 	<p>本学科は、ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーに定める教育を受け、教育・保育の場で活躍できる実践力ある保育者を養成するため、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高等学校卒業レベルの基礎的な学力および思考力、行動力を有している人 2. 人とのふれあいに関心を持つ人 3. 子供の視点を大切にする人 4. 子供の潜在的能力を育みたい人 5. 能動的で意欲のある人 <p>【入学前の学習について】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教諭・保育士には多様な分野の知識や技能が必要である。したがって、高等学校時代の学習においても、特定の教科目に偏らず、幅広く各教科目の基本的事項を習熟することが望ましい。 2. 本学科が行う入学前教育に積極的に取り組み、本学科で何を学ぶのかについて考え、指定された課題を学習し、入学後の学修に備える。